

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【公開番号】特開2008-207910(P2008-207910A)

【公開日】平成20年9月11日(2008.9.11)

【年通号数】公開・登録公報2008-036

【出願番号】特願2007-44987(P2007-44987)

【国際特許分類】

B 6 5 H 3/06 (2006.01)

B 6 5 H 3/52 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 3/06 3 3 0 A

B 6 5 H 3/52 3 3 0 A

B 6 5 H 3/52 3 3 0 H

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シート収納部に収納されているシートを送り出すシート給送ローラと、前記シート給送ローラの下流側に設けられ、シート搬送ローラ及び前記シート搬送ローラに圧接して前記シート搬送ローラに対しても追従回転可能な分離ローラを有し、前記シート給送ローラにより送り出されたシートを1枚ずつ分離して給送する分離給送部とを備えたシート給送装置において、

前記シート搬送ローラを外層ローラ部と内層ローラ部の2層で構成し、前記シート搬送ローラの外層ローラ部の硬度H1と、前記シート搬送ローラの内層ローラ部の硬度H2と、前記分離ローラの硬度H3との関係が、

H1 > H2、且つH3 > H1

となるようにしたことを特徴とするシート給送装置。

【請求項2】

前記シート搬送ローラの外層ローラ部と、前記分離ローラをEPMにて形成したことを特徴とする請求項1記載のシート給送装置。

【請求項3】

前記シート搬送ローラの内層ローラ部をブチルゴムで形成したことを特徴とする請求項1又は2記載のシート給送装置。

【請求項4】

前記分離ローラにトルクリミッタを設け、前記シート搬送ローラ又は給送されるシートから前記分離ローラに加わる負荷が所定量以上になったとき、前記分離ローラが前記トルクリミッタにより前記シート搬送ローラ又は給送されるシートにより追従回転するようにしたことを特徴とする請求項1ないし3のいずれか1項に記載のシート給送装置。

【請求項5】

画像形成部と、前記画像形成部にシートを給送する請求項1ないし4のいずれか1項に記載のシート給送装置とを備えたことを特徴とする画像形成装置。